



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.org/>

第 32 号・2010 年 3 月発行

北加日本語教師会 2010 年春の例会

『咸臨丸 150 周年記念事業』

『日米関係の過去、現在、未来をつなぐサンフランシスコ：
咸臨丸入港からアメリカにおける J-ポップ発信拠点まで』

Sunday, May 2, 2010

New People, Japantown



会長のご挨拶

活動報告とお願い

南 雅彦

北加日本語教師会 (NCJTA) 会員の皆様は、冬休み、新年、そして新学期をどのようにお迎えになりましたか。年末は、どういうわけか紅白歌合戦がサンフランシスコ・ベイエリアでは放送されず、かなり落胆していたのですが、日本から録画テープを緊急輸入し、4 時間を超える 60 周年記念紅白を堪能しました。私見ですが、「いきものがかり」というグループの「エール (YELL)」が、今回の紅白では秀逸でした。バックコーラスの中学生たちが合唱の力を存分に見せてくれましたし、またそれに負けない女性ボーカルの力強さも素晴らしかったです。まず「私は今どこに在るの」という始まりの歌詞に引きつけられてしまいました。日本語を教えていますと、生物 (有情) の場合は「いる」、無生物 (非情) の場合は「ある」と固定観念でどうしても説明しがちですが、実際の使用ではそうとは限りません。存在表現の歴史をたどれば明らかなのですが、新しい「いる」が古い「ある」の領域を侵食し続けているのです。とにかく、「私は今どこにいるの」では

なく「ある」を使用する存在表現のバリエーション (変異) から、多少なりとも違和感を覚えた「エール (YELL)」の始まりだったのですが、この歌に素直に感動する中学生、高校生がいる限り、日本の未来も捨てたものではないと妙に納得してしまいました。今年の春の卒業式では日本全国津々浦々で「サヨナラは悲しい言葉じゃない それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL」「ともに過ごした日々を胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来 (つぎ) の空へ」ときっと力強く歌われることでしょう。

ご挨拶を私事から始めるのは恐縮なのですが、昨年 11 月に『言語と文化—言語学から読み解くことばのバリエーション』を出版いたしました。この本は私がハーバード大学の教育大学院、マサチューセッツ州立大学心理学部、そしてサンフランシスコ州立大学 (SFSU) で担当してきた社会言語学セミナー “Language and Culture” に沿っています。これまでのご挨拶でも折りに触れ社会言語学の視点から見た言葉のバリエーションについて雑談形式で書いてまいりましたし、「いる・ある」の存在表現もそうしたバリエーションです。拙著はその完全・詳細版とも言うべきもので、もしお知り合いの方、図書館等にご紹介いただければ幸いです。もしお読みになる機会があるようでしたら、ご感想などお聞かせください。情報は以下にございます。

http://www.9640.jp/xoops/modules/bmc/detail.php?book_id=10248&prev=new

さらに、最近ですが、拙著『言語と文化』の書評が大修館『英語教育』3月号に出ていることを偶然知りました。

<http://online.sfsu.edu/~mminami/Review.pdf/> 東京大学の林徹先生が書評を書いてくださったことという思いがけない発見にも感激しました。こうした書評は、通常でしたら、旧知の誰かに好意的に書いてもらう性格のものなのだが、まったく面識のない東大の林先生に非常に好意的な書評を書いていただき、なおいっそう感激し、興奮したのだと思います。本というのは、本当に「一人歩きするものなのだ」と実感すると同時に、私の思い・考えを理解していただいたことに興奮しました。今回の書き方は従来のスタイルとは異なり、「語り」に集中しました。この書評の中では「饒舌」と書かれているんですが、私の意図した通りでしたので、とりわけうれしく思いました。さらに、サンフランシスコの紀伊国屋書店のベストセラーのコーナーに小川洋子の本と桐野夏生の本に挟まれて並んでいますので、是非ご覧ください。

ここで、NCJTA 昨秋の活動報告をさせていただきます。11月14日(土)に *Foreign Language Association of Northern California* (略称 FLANC) の年次発表会が SFSU で開催され、午後のセッションの1つとして NCJTA 秋の例会が行なわれました。NCJTA 秋の例会では、会員の皆様にそれぞれ自己紹介していただき、現在どのような活動をされているか、旧交を温める良い機会となりました。NCJTA では、新しい広報活動として、FLANC のニューズレターにも日本語教育関連記事の掲載を積極的に行なっていますが、近々発行される春の号には私がエッセイを書いておりますので、機会があればごらんください。今後もこうした広報活動をさらに積極的に行なってまいりますので、皆様、どうか NCJTA へのご参加、春秋の例会へのご出席、そして NCJTA ニュースレターばかりでなく、FLANC ニュースレターにも日本語教育関連の記事をご投稿いただけますよう、お願い申し上げます。

次に、習得した日本語の能力を客観的に測定しこれを公的に認定する制度である『日本語能力試験

(Japanese Language Proficiency Test : 略称 JLPT)』のご報告をさせていただきます。JLPT は12月6日(日)に SFSU で実施され、NCJTA 会員の先生方にも試験監督としてご協力いただきました。SFSU での JLPT 受験者数は年々増加し、今回は600名が受験登録しています。この受験登録者数は、現時点での SFSU での受け入れの物理的上限ですが、全米9

カ所ある試験会場の中でもロスアンゼルスと肩を並べる最大規模です。2010年度からは、従来の4レベルから5レベルとなる新形式の JLPT が実施されます。『新しい JLPT』の情報は、日本語が <http://www.jlpt.jp/index.html>、英語が <http://www.jlpt.jp/e/about/new-jlpt.html> にございますので、どうぞご覧ください。『新しい JLPT』の実施に関しましても NCJTA の会員の皆様のご協力をお願いすることになると存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後に、年会費のお願いです。NCJTA は2006年春に非営利団体として認可されていましたが、昨年、非課税団体としての申請がようやく認められました。もちろん、非課税団体と申しましても州政府と連邦政府には活動報告を毎年提出する義務があり、そうした報告義務の遂行には経費がかかります。今後の非営利団体としての NCJTA の存続のためにも会員の皆様には年会費のご納入を切にお願いいたします。

どのような団体も完全無欠の状態であることはありませんし、静止していません。いつもどこかを修正、微調整する必要が生じます。私が会長職をお引き受けして以来(1) NCJTA が非営利団体として認可されるよう申請を完了する、(2) NCJTA の会員数を増やす、という2つの課題を自らに課し、それらを完遂することを目標として掲げ、役員の方と鋭意努力してまいりました。上述のように、非営利団体としては認可され、非課税団体としての認可も完了しました。また、会員数も上向きに転じています。しかし、残念ながら、年会費の滞納という問題はなかなか解消できずに今日に至っています。年会費お支払いのお願いは、遡及的なものではございません。つまり、前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納分のお支払いをお願いする性質のものではありません。もし昨年度までお支払いでない場合、是非とも今年度分の年会費(一般\$15、学生\$5)からお支払いいただけますよう、お願い申し上げます。

今春もさまざまなイベントを通して、NCJTA のさらなる発展と活性化のために、メンバーの皆様方と一緒に勉強させていただきたいと思っています。在サンフランシスコ日本国総領事館より『咸臨丸150周年記念事業』の一環として、NCJTA で何かイベントができないかというお尋ねがあり、それにお応えする形で NCJTA 春の例会を5月2日(日曜日)午後1時~3時にジャパントウンの *New People* で開催する方向で役員共々、鋭意、準備をいたしております。

ます。皆様ご存知のように、*New People* は viz pictures の堀淵清治氏が昨年 8 月 15 日に米国での J-Pop の発信地となるべくオープンされました。今回の例会では *New People* の簡単なツアー、そして堀淵氏にご講演をお願いしています。これは昨年秋の例会でご講演をお願いしていたものですが、堀淵氏のご都合で延期になっていました。今回は、咸臨丸がサンフランシスコ湾に入港して 150 年という記念事業の一環として春の例会を開催しますので、日本国総領事館からのご挨拶、そして 1972 年設立の NCJTA も後 2 年で満 40 歳を迎えようとしておりますので、その歩みを振り返る意味でサンフランシスコ市立大学 (City College of San Francisco) のグラント先生のお話も予定しています。どうか御期待ください。また、本例会はネットワーキングの場としてご活用いただけるよう極力配慮いたしますので会員の皆様には、どうか奮ってご参加ください。



2009 年 春の役員会報告

北加日本語教師会役員会

日時：1月24日、日曜日、午後12時00分

場所：4406 Dwinelle Hall, UC Berkeley

出席者：高橋久子（総領事館）南雅彦 増山和恵（書記）斉藤真由美 栗岡由布子 森岡妙子 今瀬博 シアース・多都美 大塚 神原若枝 （役員名簿順）

1. 春の例会

- a. 春の例会開催日：第一候補は 5 月 2 日（日曜日）。ただし、発表者の都合等により変更の可能性もある。開催時間は午後だが、例会の時間帯は融通がきく。今年の桜祭りは、4 月 11 日と 18 日なので、それを避ける日程を議論した。
- b. メインイベント：再度、堀淵氏に講演を依頼すると同時に、他の講演、イベントも併催する方向で同意した。Pop-culture を期待してくる方もいるかもしれないので、似たような話題の講演や、ワークショップを行ったり、過去の活動を振り返る北加日本語教師会「38 周年記念」といったようなイベントで活気づけてもいいのではないかという意見、また、イ

ンターンの受け入れ先の案内や、昼食を出すといったアイデアも出た。今後春の例会の実行委員会を結成し、計画を進めて行く方向で合意した。

2. NCJTA Newsletter (2月26日(金)原稿締め切り、3月12日(金)発行予定)

- a. コラム寄稿者『言葉の窓』：シアース先生が De Anza College の郭先生に伺ってみることで合意した。南先生がサンフランシスコ市立大学 (City College of San Francisco) の猪俣先生にも伺ってみるが、猪俣先生に関しては、間に合えば今回、間に合わなければ次回に掲載することで合意した。
- b. 『インタビュー』：パークレーの大黒先生とデービスの伊藤先生に栗岡先生がお願いすることで合意した。

3. FLANC Newsletter

日本語・日本語教育関連記事寄稿者：昨年秋は、シアース先生と増山先生の『言葉の窓』の英語版を出したが、日本語の部分がニュースレターにうまく表記されなかったため、次のニュースレターに訂正が出される。今後、日本語を使用する場合は、gif/jpeg のようなファイルにして、ワードの中に添付したほうが良いと南先生より提案があった。秋の FLANC ニュースレターは、6 月末までに提出すると間に合うので、今から積極的に声をかけていくことで合意した。

4. 報告

- a. スピーチコンテスト（昨年 11 月 1 日開催）：高橋氏より北加、及び加州日本語教師会の協力で、無事に終了したとの報告があった。しかし、やはり、今年度も「家庭で日本語を使用している」かどうかという自己申告に関する問題や、審査基準に関して質問が出た。また、他の機関で発表したものをもう一度発表したといったケースが見られたので、「はっきりとしたルールを作成したほうが良いのではないか」という意見が出た。
- b. 新しい日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test) : 2010 年

度から実施予定の「新しい日本語能力試験」に関して、南先生より『新しい日に本語能力試験ガイドブック 概要版』が配布された。レベルを現行試験の4段階（1級、2級、3級、4級）から5段階（N1、N2、N3、N4、N5）となり、日本語能力試験 Can-do リストが提示されている。

- c. non-profit organization（非営利団体）の報告義務に関して：
- (1) 1月31日までにFormをState of Californiaに提出する。書類提出の際 \$ 20必要。
 - (2) Tax Form（State / Federal）を作成提出する（Non-profit organizationは5月15日までに提出）

5. 役員改選・補充

- a. 増山（副会長）、栗岡（ニューズレター）、森岡（小学校）、シアース（コミュニティカレッジ）の任期は2010年春までだったが、全員2011年春まで任期延長で合意した。
- b. 空席：書記は副会長（増山）が兼任。学園代表は未定。高校代表は「Mills High Schoolの宗田昭子先生が次の役員が決定するまで暫定的に任務に就く」と森岡先生から報告があった。

6. その他

- a. ウェブの広告料金徴収の確認：Japan Society、Temple University、IACE社から各100ドルずつ徴収した。現在の登録会員数100名弱、年会費を支払っている人は70名程度、学生会員（\$5）もいるので、現在\$1,000前後の運営費で賄っている。
- b. 小学生お話大会：在サンフランシスコ日本国総領事館の高橋氏より「3月7日に開催される小学生お話大会に北加日本語教師会を後援団体として掲載して良いか」という依頼に関し同意した。新しく高校代表となる宗田先生が審査員として参加することで了解した。
- c. 咸臨丸150周年記念事業：在サンフランシスコ日本国総領事館の高橋氏より、『咸臨丸150周年記念』とい

うことで、北加日本語教師会で何かイベントが開催できないかという要請があった。北加春の例会は、こうした要請に応える形にすることで合意した。



『言葉の窓』

漢語の語尾声についての一考察

—中日韓台四言語の比較

郭敏俊（Kuo Min-Jin） De Anza College

漢語の語尾声は、入声と鼻音の2種類がある。入声とは、すなわち語尾声に子音の/h/ /p/ /t/ /k/などで収まるものであり、/p/語尾声は「閉唇声（bilabial stop）」の1つである。鼻音とは、語尾声に子音の/n/ /ŋ/ /m/などで収まるものであり、その内、/m/語尾声は「閉唇声」の1つである。漢語の語尾声はあわせて7種類ある。

日本と韓国両国は、共に中国文化の大きな影響を受けたため、漢語が自国の文化に深く浸透し、ついに自国の文化の骨となり肉となってしまった。日韓両国は、今日に至るまで昔の漢語をそのままに話しているが、漢字の発源地としての中国を振り返ると、現在、広く使われる北京語の発音は、古漢語とはかなり異なっている。中国には、唐・宋以降、国力衰弱のため、異民族の侵略と統治によって言葉の発音に影響を受けている。漢語の特徴としての「入声」と「閉唇声」などの語尾声はほとんどなくなったのである。

「入声」とは辞典で「音短促、急収蔵」と解釈している。くわしく言えば、語尾声には「発音が短く急に収まり、発音器官の最後の位置は、合唇で収まるものと、舌先が上顎に当たって収まるものと、口が開くまま舌先が下歯に当たって喉から無気声で収まるものと、これと同じ方法で喉から短急な有気声を出すものとの4つの入声がある。

「入声」とは辞典で「音短促、急収蔵」と解釈している。くわしく言えば、語尾声には「発音が短く急に収まり、発音器官の最後の位置は、合唇で収まる

ものと、舌先が上顎に当たって収まるものと、口が開くまま舌先が下歯に当って喉から無気声で収まるものと、これと同じ方法で喉から短急な有気声を出すものとの4つの入声がある。

元来、日本語には「入声」の要素が存在しておらず、すべての言葉の語尾声は必ず母音で収まるので、入声の付く漢字を発音する場合、一律、母音を付けて発音する。ただし「入声」の類似した日本語の「促音」は、一部分の漢字入声が表現できる。たとえば、配達 (hai tatsu) — 達成 (tat sei) の「達」が語尾声ではない場合、その発音はすなわち入声そのものである。

この点から見ると、日本語にはやはり「入声」の要素がある。ウィキペディア (Wikipedia) によると、促音に類似した音素・音結合はイタリア語等の欧州地域の一部、および韓国語、広東語、閩南語 (福建) 語、台湾語、ベトナム語などの古代中国語の声調の一つである「入声」を保存している東アジア地域に分布していると記載されている。

次に「閉唇声」について説明しよう。日本語と中国語 (北京語を指す) の語尾声には、両者とも「閉唇声」がっていない。中国語には /n/ (alveolar nasal) と /ŋ/ (velar nasal) の語尾声があるが、/m/ (bilabial nasal) の語尾声がない。日本語には /m/ の語尾声はほとんどない上、/n/ と /ŋ/ の語尾声ははっきりとは区別し難い。それで、漢語の鼻音語尾声の /n/ と /ŋ/ と /m/ については、日本語では全部 n 音で収まってしまう。

韓国語では、漢語の語尾声の入声と鼻音がまだ維持されているが、入声のうちに t 入声 が l (r) に訛って長音化した。その上、韓国語の連音現象も一部分の漢語入声を潰し、前字語尾の入声を引いて次字の頭母音と結合して発音する。例を挙げてみると、錯誤 (chak o → cha ko)、石油 (sok yu → so kyu)、卒業 (chot op → cho l op → cho lop, t が l に訛化) などがある。こうした場合、漢語の単音節の特徴—すなわち字を一つ一つ分けてははっきり発音すること—がぜんぜんなくなり、特に入声の「音短促、急収蔵」の語感が乏しい。この現象も鼻音に発生し、たとえば軍人 (kun in → ku nin)、音楽 (irm ak → ir mak)、金曜日 (kirm yo il → kir myo il) など枚挙にいとまがない。

上述のように、日本語と韓国語がおのおのの言語の特性で、完全に漢語の語尾声の精粹を把握できないのは、むしろあたりまえのことであろう。概して、日本語と韓国語のなかには、まだたくさんの古漢語の音がそのまま維持されている。逆に、現在の中国語は唯漢語の語尾声がなくなったばかりではなく、その発音も元の音とはかなり違っている。この点から見ると、古漢語を理解するのは、先ず日韓両国の言語を理解しなければならない。もし李白が今再び長安を訪れることができたなら、そこを他国か異郷だと感じるかもしれない。しかし、もし李白が日本か韓国を訪れたら、現在の中国語よりも単語をもっと理解できるかも知れないのだ。

もし李白が台湾を訪れたら、これこそ里帰りであると感じるに違いない。なぜかといえば、台湾語には、今日に至るまで古漢語の発音がそのまま保存されているからである。漢語の語尾声の入声と鼻音が完璧に付いている以外にも鼻音が /n/ と /ŋ/ と /nn/ の3種類がある。台湾語は漢語史の博物館とも漢語の活化石とも言われている。台湾語の源流を溯ると、紀元前16世紀から11世紀の遠古の商朝までに達する。先民は中原のあちこち移り廻って、各地の方言を多少受け入れて、時代の移りに随って北から南へと進んで、最後に台湾に到着した。台湾語には魏晋時代の呉音と唐代の漢音とそれ以来の唐音などが幅広く残されている。特に唐代の科挙制度の影響で、当時の長安音は初めに読書の実用性から学ばれ、ついに一般生活に至って日常用語になってしまった。また台湾語には文言と口語がある。たとえば、「白」 birt (文言) beh (口語)、「一」 it (文言) chit (口語)、「十」 sip (文言) tsap (口語) などである。そのほか台湾語には韓国語と日本語との発音がほぼ同じの漢語が少なくない。たとえば、世界・信用・健康・鉛筆・人気・先生・国家・新婦・新年・意見・離別・義務・仁愛・民族・列車・軍人・大君などなどである。

今日の台湾語にはたくさんの日本語が残って台湾語の成分の一部となった。もちろん、国民政府の統治によって北京語を国語として全民教育を施した結果、北京語も台湾語の成分の一部となった。にもかかわらず、台湾語は古漢語を発音できる点から見ると、人類文化の遺産として韓国語と日本語と同じように古漢語を研究するに欠くべからず重要な言語の一つとも言えよう。

次に、表1で台湾語を主として、ほかの韓国語と日本語と普通話との漢字の語尾声を比較しておく。

表1 中日韓台四ヶ言語の漢音比較表

	語尾声	漢字	台湾語	韓国語	日本語	中国語	関連字例 (日本語音読み)			
入 声	-p (閉唇声)	圧合	ap hap	ap hap	at-u go-o	ya her	答とう 峡きよう	業ぎよう 協とう	十じゅう 急きゅう	葉よう 渉しよう
	-t	八直悦	pat tit wat	phal chik yol	hat-i jik-i et-u	pa sa ye	一いち 匹ひき 末まつ	質しち 力りき 薩さつ	七しち 式しき 説せつ	日にち 笛てき 達たつ
	-k	六積	lak chirk	lul kyok	lok-u seki	liou chi	北ほく 席せき	訳やく 籍せき	育いく 識しき	目もく 色しき
	-h	塔雪石	thah seh cioh	thap sol sok	tho-o set-u sek-i	tha shyue shy	郭かく 節せつ 赤せき	客きやく 雪せつ 滴てき	作さく 月げつ 戚せき	格かく 活かつ 積せき
鼻 音	-nn	精晶 餡	gann cinn ann	chhoŋ chhoŋ ham	se-e sho-o an	ya ciŋ shian	清せい 賞しょう 羹かん	声せい 象ぞう 酸さん	星せい 横おう 銭せん	嬰せい 争そう 官かん
	-n	天安	theŋ an	chon an	theŋ an	Then An	山さん 建けん	単たん 般はん	勘かん 現げん	線せん 前ぜん
	-ŋ	空迎	khooŋ giŋ	khooŋ yoŋ	ku-o ge-e	khooŋ yiŋ	光こう 英えい	望ぼう 亭てい	王おう 程てい	港こう 省せい
	-m (閉唇声)	金陰	kim im	kim wm	kin in	jim in	心しん 談だん	暗あん 沈ちん	音おん 林りん	男なん 念ねん

注：1 ローマ字綴りは、必ずしも当該国の標準字ではない。発音に当てるためである。

2 日本語のカ、タ、パなどの行について、気声と無気声の二種類の発音があるから、気声の場合、小さい **h** を付けて示す。

上述の表1から4カ国言語の相違点をまとめたものが表2である。

表2 台湾語・韓国語・日本語・中国語の相違点

	語尾声	台湾語	韓国語	日本語	中国語
入 声	-p (閉唇声)	p	p	o	---
	-t	t	l k	chi ki tsu	---
	-k	k	k l	ku ki	---
	-h	h	p l k	o tsu ki	---
鼻 音	-nn	nn	ŋ m	e o n	a ŋ n
	-n	n	n	n	n
	-ŋ	ŋ	ŋ	o e	ŋ
	-m (閉唇声)	m	m	n	n

先ず入声について比べて見よう。① 中国語の入声がほとんどなくなって全部母音化した。② -p 語尾声の場合、韓国語には-p が付いているが、日本語では-p が母音の o に変わり、長音化になった。③ -t 語尾声の場合、韓国語には-t が k なく、l に変化した。日本語には漢字に応じて chi か ki あるいは tsu に変わった。④ -k 語尾声の場合、韓国語には k をそのまま維持するか、l に訛った例もある。日本語では ku ないし ki に変化した。⑤ -h 語尾声の場合、韓国語には-h がないが、その代わり漢字に応じて p か l あるいは k に変わった。

次に鼻音について比べて見よう。① -nn 語尾声の場合、韓国語では ng ないし m に変わった。日本語には漢字に応じて e か o か n に変化した。中国語では a 母音か ng か n に変わった。② -n 語尾声の場合、四言語全てで維持されている。この点が唯一の共通点である。③ -ng 語尾声の場合、台湾語と韓国語と中国語にはみんな ng が付いているが、日本語では o あるいは e の長音化となった。④ -m 語尾声の場合、韓国語は台湾語と同じく m が付いているが、日本語と中国語は共に n に変わった。

以上は、単に私個人の考察でまとめたものであり、専門的文献を特に参考としていないので、論点が必ずしも専門家の意見とは一致しないかも知れないが、もし参考になるところがあれば幸甚である。



会計からのお知らせ

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2010 年度分の会費(2010 年 4 月から 2011 年 3 月まで有効)を年会費納入用紙といっしょに送ってくださるか、春の例会でお支払いいただければと思います。昨年までの会費を払っていらっしゃらない方も今年のみ会の会費で結構です。皆様のご協力をお願いいたします。

NCJTA は 2007 年に非営利団体(non profit organization)になりました。それで、寄付を受けることができるようになりました。現在 Japan Society of Northern California、IACE Travel から NCJTA のウェブサイトの広告一つ分 100 ドルの寄付をいただいています。皆様の中で広告を出してくださいそうな方をご存知の方はぜひ斎藤までご連絡ください。

(会計：斎藤)

- 日時：5 月 2 日（日）正午～3 時
(New People ツアーは午後 12 時 30 分から、講演は午後 1 時から午後 3 時まで)
- 場所：New People, Japantown 1746 Post St. (between Webster and Buchanan), San Francisco
- テーマ：『日米関係の過去、現在、未来をつなぐサンフランシスコ：咸臨丸入港からアメリカにおける J-ポップ発信拠点まで』 [San Francisco: A City Connecting the Kanrin Maru (which represents the past U.S.-Japan relations) and J-Pop (which characterizes, at least in part, the current U.S.-Japan relations)].
- 講演者：①堀淵清治氏 (viz pictures)、②『咸臨丸 150 周年記念事業』の一環として日本国総領事館からのご挨拶、③『NCJTA、38 年の歴史を振り返る』サンフランシスコ市立大学 (City College of San Francisco) グラント先生
- 参加費：無料。会員のご家族、会員以外の方、日本語を学習している学生もどうぞお誘い合わせの上、ご来場ください (donation をお願いします)。
- 皆様ご存知のように、New People は viz pictures の堀淵清治氏が昨年 8 月 15 日に米国での J-Pop の発信地となるべくオープンされました。今回の例会では New People の簡単なツアー、そして堀淵氏にご講演をお願いしています。今回は、咸臨丸がサンフランシスコ湾に入港して 150 年という記念事業の一環として春の例会を開催しますので、日本国総領事館からのご挨拶があります。さらに、NCJTA も満 38



イベントのお知らせ

ワークショップ・イベントのお知らせ

- Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA) Spring Meeting
北加日本語教師会春の例会

歳となり、その歩みを振り返る意味でサンフランシスコ市立大学 (City College of San Francisco) のグラント先生のお話も予定しています。アメリカの都市としてサンフランシスコ市が日米関係においてどのような役割を果たしてきたのか、そしてこれからどのような役割を演じていくのか、会員の皆様にとって有益な時間になることを希望してやみません。



先生の紹介

伊藤潤子先生

1) お名前を教えてください。
伊藤潤子と申します。

2) 教えている学校名、町を教えてください。
去年の秋から母校のカリフォルニア大学デービス校で教えております。また週2回カリフォルニア州立大学サクラメント校でも夜のクラスを1つだけ教えております。

3) 日本語教師はいつから？
日本語を教え始めたのは2000年です。サクラメントにある高校で3つのレベルが一緒になったクラスを一つと、チコの近くにあるコミュニティカレッジで2つのレベルが一緒になったクラスを2つ教えました。日本語を教えるのは初めてだったし、通勤時間が往復4時間だったので、かなりきつかったのを覚えています。

4) ご趣味は？
旅行と読書です。旅行好きなので毎年1回は旅行していますが、去年はヨーロッパへ行きました。ヨーロッパにはぜひ、また行きたいですね。旅行する時はたいていバックパッカーで行きます。

5) 日本の出身地は？
赤いりんごで有名な青森県です。子供の頃、北海道にも住んでいました。田舎でのんびり育ちました。

6) アメリカに来てから何年ですか？
もう10年以上になります。

7) 仕事について、なにか一言お願いします。
私はパートでずっと2校3校掛け持ちで教えてきましたが、どんなに大変でもここまで続けてこられた

のは、やはり日本語を教えることが楽しかったからだと思います。満足する授業ができる日もあれば、たくさん準備してもうまくいかない日もある。でも、失敗したらその失敗からまた何かを学べる。そこがこの仕事の面白いところであり、魅力でもあると思います。日本語教師という仕事は、「先生、ありがとう」とか「日本語を勉強するのは楽しいです」と学生達に言ってもらえるやりがいのある仕事ですよ。ね。「どうして日本語を勉強しているの？」と聞くと「先生が好きだからです」と答えてくれる学生がいたり、結婚式の招待状を届けてくれる学生がいたり、この仕事を続けていて本当に良かったと思うことが多々あります。これからも日本語を教えることを通して、たくさんの学生や先生方との出会いを大切にしていきたいと思っています。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
忙しい毎日ですが、お互いに健康管理には心を配りましょう。

大黒恭得先生

1) お名前を教えてください。
大黒恭得 (おおぐろやすえ) です。

2) 教えている学校名、町を教えてください。
バークレーにあるUCBです。

3) 日本語教師はいつから？
確か1997年からです。

4) ご趣味は？
空手と旅行です。

5) 日本の出身地は？
大阪府です。

6) アメリカに来てから何年ですか？
エー、、、22年になります。

7) 仕事について、なにか一言お願いします。
科目によらず、教職を選んでよかったと思っています。

8) 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。
色々な学校の先生方と交流が持てたらと思っています。よろしくお願ひいたします。

編集後記

編集後記

春学期も半ばとなり、会員の皆様、諸先生方には、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。今回のニュースレターも日本語教育に関する話題を充実させました。今後とも、会員の皆様からのご投稿をスタッフ一同心からお待ち申し上げております。どうか、お気軽にご意見、ご質問、ご感想等を、南、神原、栗岡、今瀬までお送りください。

南：mminami@sfsu.edu

神原：wkambara@berkeley.edu

栗岡：kuriokayufuko@hotmail.com

今瀬：hiroimase@yahoo.co.jp



北加日本語教師会連絡先

NCJTA

Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Masahiko Minami
Department of Foreign Languages
サンフランシスコ州立大学
San Francisco State University
1600 Holloway Avenue
San Francisco, CA 94132
(415) 338-7451
<http://online.sfsu.edu/~mminami/>

<役員>

会長/CEO：Masahiko Minami 南 雅彦
(同上)

副会長：Kazue Masuyama 増山 和恵
California State University, Sacramento
E-mail: kmasuyama@csus.edu

会計：Mayumi Saito 斎藤 真由美
University of California, Davis
E-mail: msaito@ucdavis.edu

ニュースレター編集委員：

Yufuko Kurioka 栗岡 由布子

Institute of Buddhist Studies

E-mail: kuriokayufuko@hotmail.com

<各レベル代表>

小学校代表：

Taeko Morioka 森岡 妙子
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: Taeko3568@aol.com

中学校代表：

Hiroshi Imase 今瀬 博
Odyssey School
E-mail: hiroimase@yahoo.co.jp

高校代表：

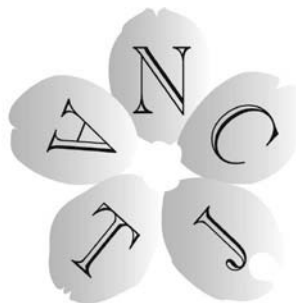
Akiko Soda 宗田 昭子
Mills High School
E-mail: akiko.soda@gmail.com

コミュニティーカレッジ代表：

Tazumi Searce シアース 多都美
469 Tovar Drive, San Jose, CA 95123
E-mail: tazumi@comcast.net

大学代表：

Wakae Kambara 神原 若枝
University of California, Berkeley
E-mail: wkambara@berkeley.edu



Northern California Japanese Teachers' Association



北加日本語教師会

<http://www.ncjta.org/Home.html>

会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。

年会費
一般\$15、学生\$5

Check payable to: NCJTA
Mail to: Mayumi Saito, 2105 Saratoga Place, Davis, CA 95616
Name: _____ Affiliation: _____
School/office Address: _____
Home Address: _____
E-mail: Home: _____ Work: _____
Phone: Home: _____ Work: _____

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出していただく必要はありません。

Mail to: Mayumi Saito, 2105 Saratoga Place, Davis, CA 95616

1.氏名の変更 旧氏名(漢字/カタカナ):

(英語):

新氏名(漢字/カタカナ):

(英語):

2.住所変更/勤務先変更(新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____ Affiliation: _____
School/office Address: _____
Home Address: _____
E-mail: Home: _____ Work: _____
Phone: Home: _____ Work: _____

役員立候補届用紙

書記と学園代表が現在、空席です。役員に立候補ご希望、もしくはご推薦された方はこの用紙にご記入の上、下記住所までご郵送下さい（4月23日必着）。

宛先： Masahiko Minami
Department of Foreign Languages & Literatures
San Francisco State University
1600 Holloway Avenue
San Francisco, CA 94132

（書記、学園代表）に立候補します。

該当のものを○で囲んでください。

お名前（日本語） _____

お名前（英語） _____

連絡先

E-mail:

Tel:

勤務先：